

研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年8月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一

福島県立医科大学医学部災害こころの医学学講座 前田正治

【研究課題名】

COVID-19 クラスタ発生施設における医療・介護従事者のメンタルヘルスに関する後方的検討

【研究期間】

2022年8月（倫理委員会承認後）～2027年6月

【研究の意義・目的】

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症（coronavirus disease 2019: COVID-19）の世界的流行（COVID-19 禍）は人々や社会に甚大な影響を与えている。先行研究では、COVID-19 の治療や介護支援に拘わる医療・介護従事者はメンタルヘルスが大きく悪化することが報告されている。また、患者や同僚に陽性者が出た施設や病院で働く医療・介護従事者のストレスは極めて高いことが指摘されている。そのため、医療・介護施設でクラスターが発生した場合には、医療・介護従事者の抑うつ症状を迅速にスクリーニングし、ハイリスク者には心理社会的支援や専門的治療を行う必要がある。

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座は、福島県の委託を受けて「こころのケアチーム」を結成し、2020年4月よりCOVID-19のクラスターが発生した県内の医療・介護施設に勤務する医療・介護従事者への支援を行ってきた。この支援では、うつ病の自記式スクリーニング・テストを2020年11月1日から2022年4月30日までに15以上の施設でのべ約350名の職員に配布し、回収・集計したうえで、ハイリスク者には公認心理師や精神科医が遠隔カウンセリングを実施してきた。

そこで本研究では、「こころのケアチーム」の支援のなかで2020年11月1日から2022年4月30日までに実施したうつ病の自記式スクリーニング・テストの結果を2次利用し、より詳細に集計・解析することで、COVID-19 クラスタ発生施設における医療・介護従事者のメンタルヘルスを評価することを目的とする。これにより、COVID-19のクラスター発生後の医療・介護従事者のメンタルヘルスに関する基礎的知見となり、今後の心理社会的支援に寄与すると考えられる。

【研究の対象となる方】

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座は、福島県の委託を受けて「こころのケアチーム」を結成し、2020年4月よりCOVID-19のクラスターが発生した県内の医療・介護施設に勤務する医療・介護従事者への支援を行ってきた。本研究では、2020年11月1日から2022年4月30日までに「こころのケアチーム」の支援で実施されたのべ約350名を対象に、うつ病の自記式スクリーニング・テストの結果を2次利用し、より詳細に検討する。

なお、今般のCOVID-19（とりわけクラスター）が発生した施設においては、災害級のインパクトが職員に及んでおり、かつ緊急性を要する支援であるため、あらかじめ定めた調査研究として行う（すなわち倫理委員会承認後に研究を開始する）ことは現実的に困難である。そのため、本研究ではオプトアウト方式の後ろ向き観察研究としてデータを2次利用し解析を行う。

【研究の方法】

本研究では、2020年11月1日から2022年4月30日までに「こころのケアチーム」の支援で実施されたうつ病の自記式スクリーニング・テストの結果を2次利用し、より詳細に検討するために実施される。自記式スクリーニング・テストのなかには個人や医療・介護機関が特定されうる情報（勤務機関・勤務施設、氏名、電話番号、勤務する病棟・部署・チーム・フロア）も含まれるが、これらは研究で匿名化される。そのため、個人が特定されうる情報が公表されることは一切ない。自記式スクリーニング・テスト項目は以下の(1)から(16)である。

- (1) 勤務機関・勤務施設
- (2) 氏名
- (3) 電話番号
- (4) 年代
- (5) 性別
- (6) 職種
- (7) 勤務する病棟、部署、チーム、フロア
- (8) 役職
- (9) 現在勤務する場所で応援職員かどうか
- (10) PHQ-9 日本語版
 - PHQ-9 はうつ病のスクリーニングのための尺度である。PHQ-9 は過去 2 週間の抑うつ症状に関する 9 つの質問項目と、抑うつ症状による生活支障に関する 1 つの質問項目で構成され、「全くない (0 点)」から「ほとんど毎日 (3 点)」の 4 件法で回答を求める。
- (11) 勤務継続の自信
- (12) PCR 検査で陽性または自宅待機期間の有無
- (13) COVID-19 の後遺症 (※「(12) PCR 検査で陽性または自宅待機期間の有無」で「あり」と回答した場合のみ)
- (14) 職場への要望 (※任意の自由記述)
- (15) 家族や仕事に関する心配事 (※任意の自由記述)
- (16) その他の意見など (※任意の自由記述)

【研究組織】

	所属	氏名
研究責任者	福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座	前田 正治
研究分担者	福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座	瀬藤乃理子
研究分担者	福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座	小林 智之
研究分担者	福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座	佐藤 秀樹
研究分担者	福島県立医科大学 医学部災害こころの医学講座	竹林 唯

【他の機関等への試料等の提供について】

該当しない

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座 担当：佐藤秀樹
電話：024-547-1887
E-mail: hidekis@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座 担当：佐藤秀樹
電話：024-547-1887
E-mail: hidekis@fmu.ac.jp